



入っ子

ホームページアドレス

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/irino-e/>

R3年度 学校だより No. 1 1

令和3年10月20日発行

入野小ブログ 毎日更新中

R3夏 入野小をよりよくするためのアンケート結果

後期がスタートして2週間が過ぎました。緊急事態宣言中に控えていた活動も、徐々に再開できるようになり、子供たちは生き生きと活動しております。先週は、1年生～3年生がそれぞれ校外学習にも出掛け、貴重な体験をしてきました。

さて、夏季休業中には、「さくら連絡網」によるアンケートへの御協力ありがとうございました。結果の中から、主なものを抜粋し、お知らせいたします。

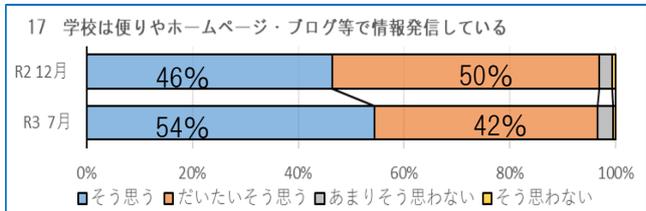
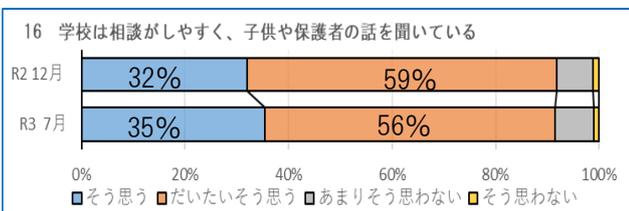
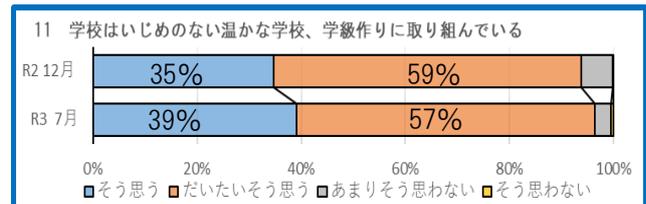
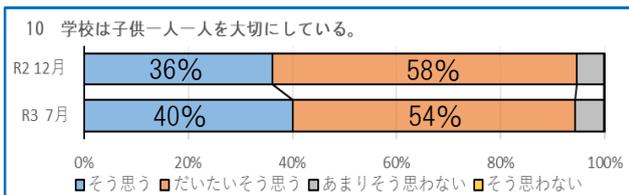
このアンケートの結果については、児童用アンケートの結果とともに職員で共有しました。後期の教育活動に生かし、入野小学校が、子供たちにとって、より居心地のよい場所とするため、努力して参ります。保護者の皆様には、今後とも御理解と御協力をよろしくお願ひします。

(今号の内容は、ホームページにも掲載します。グラフをカラーで見ることができます。)

【保護者アンケートから見る入野小の強み】

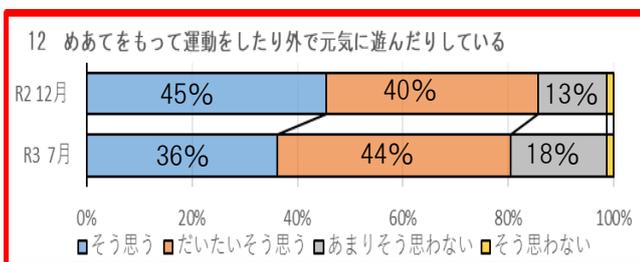
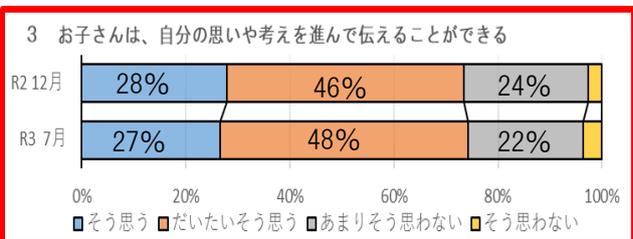
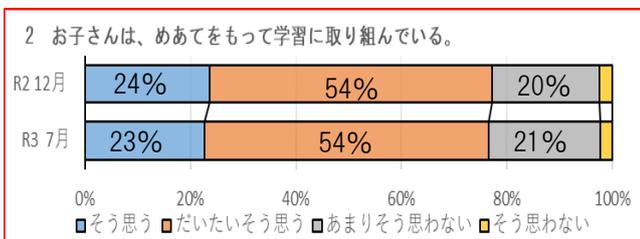
20の質問項目のうち、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた回答が9割以上だったものが、ほとんどでした。特に、「通学路を歩いて登下校する」「交通ルールを守る」については、7割以上の御家庭が「そう思う」と回答され、各御家庭での、安全へ意識の高さを感じました。

また、本校職員が、子供一人一人を大切に、温かな学校、学級づくりに取り組んでいることや、教育相談のしやすさ・情報発信力などについては、令和2年度12月時点に比べ、「そう思う」という回答率が高くなり、高評価をいただいたと感じます。今後も引き続き、努力して参ります。



【保護者アンケートから見る入野小の弱み・改善点】

「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答の割合が、他項目に比べ高かったのは、以下です。



「自分の思いや考えを進んで伝えること」ができていないと感じる方の割合が、すべての項目の中で、最も高く、児童アンケートでも同様の結果が見られました。

また、「めあてをもって」学習や運動に取り組むことができていないと感じる方の割合も高く、特に運動や外遊びについては、前回調べより増加傾向がありました。

コロナ禍での活動の制限による影響もあるかと思いますが、授業や子供たちへの声掛けの仕方などを工夫し、改善に向け、後期も一層努力して参ります。

自由記述にいただいた御意見(抜粋・編集しています)

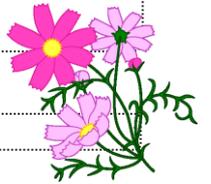
(よかった点)

- 担任の先生を始めとして、学校側にはとても理解ある対応をしていただいて、とても感謝している。
- 「先生から注意を受けても、その後、どうすれば良くなるのかアドバイスをもらえる。」と子供が言っていた。子供の成長を思いながら、時には厳しく、時には優しく、丁寧な御指導をしていただいていると思う。
- コロナが大変な時期に、学校に通えること・大変な中、対策をよくやっていただき、ありがたい。
- ブログでのお知らせがあることは、ありがたい。

本校職員の取り組みについて、感謝の言葉を多数いただき、大変励みになりました。今後も、入野小の子どもたちの健やかな成長のため、どのような学習環境を整えていけばよいのか、発達支援教育の推進、個に応じた対応などについて研修を深めていきます。コロナ対策については、最善の努力をしたいと思えます。また、ブログによる情報発信やお知らせについても、継続して行っています。

(御要望や御質問、改善点など)

- ◆ 肌が弱くなければ、教室ではなるべく紙マスクを推奨してほしい。
マスクの着用については、引き続き継続します。紙マスクの推奨については、御家庭ごとの事情もあるため、現時点では、行わない予定です。御理解をお願いします。
- ◆ 参観会は、もう少し余裕をもって、参観することができたら嬉しい。
新型コロナウイルスの状況を考慮しながら、検討していきます。
- ◆ 担任以外の先生(学年主任や養護の先生など)と相談できる時間がほしい。
担任以外との教育相談も可能です。お気軽にお申し出ください。事前に相談日を調整します。
- ◆ お知らせは、連絡網でしてほしい。ブログにUPして連絡済みにしないでほしい。
確実にお伝えたいことは、「学校便りや学年便りなどの書面」や「さくら連絡網」にてお知らせします。内容の重要度、緊急性等により、ブログも併用して、より確実なお知らせができるようにします。
- ◆ 毎日ランドセルに教材や水筒、活動用具などかなりの重さで身体に負担が大きい。少しでも減らせないか…
極力、荷物が減るような配慮を、行っていくようにします。
- ◆ 下校が今年度から15~20分遅くなったが、まずは5~10分程度にする等、もう少し配慮がほしいと思った。
下校時刻が遅くなったことで、大変御迷惑をおかけしました。
令和3年度は、1時間目の開始時刻を10分遅くして、8:25スタートとし、15分休みを5分長くして、20分休みとしたため、下校時刻が15分遅くなりました。
朝に、ゆとりをもたせ、落ち着いて1日のスタートを切ったり、健康観察を丁寧にしたりしています。
また、コロナ禍にあっても、外で体を動かしたり、手洗いやアルコール消毒をしたり、高学年は、委員会活動を行う時間の確保をしています。時間にゆとりをもたせることで、心にもゆとりをもたせ、安全・安心な学校生活を目指しています。どうぞ、御理解、御協力をお願いします。
- ◆ 子供たちだけで外出したり、お金を持ち寄って買い物をしたりしていることに心配を感じる。
子供だけでお店に入らない・学区外には親が同伴する・何時までには帰るべきなど目安となるルールはあるか。
行動範囲や判断力が学年や個人によって違うことや、各家庭の事情等により、一律に定められないことがありますが、各学年の発達段階に応じて、原則として、子供たちには、次のような指導をしています。
・外出先と帰宅時刻を伝えてから出かけます。 ・暗くなる前に帰ります。
・用事のないときは、お店に入りません。 ・保護者が留守の家庭では、子供だけでは遊びません。
これらのルールは、4月配付の冊子「令和3年度 入野小学校 教育計画」P6「入野小のくらし(校外生活)」及び、巻末の「よくわかる!入野小学校」にも掲載されています。御参照ください。
- ◆ 夏の暑い期間、他校は帽子での登校も可能のようだが、入野小も可能なのか。
入野小学区は、交通量が激しく、交通事故が心配な地域です。歩道を歩いている、店舗の駐車場に入る車との接触も心配です。そのため、万が一に備えて登下校の際には、ヘルメットを着用することとしています。ヘルメットは、防災上の役目もあり、子供たちが在校中には、所定の場所に置いて備えています。事情がある場合には、個別に相談させていただきます。
- ◆ 学校にいつでも誰でも入れてしまうのは、セキュリティの面で危険だと思う。
貴重な、御意見ありがとうございます。より安心・安全な学校となるようにより努めていきたいと思います。現状では、子供たちが学校にいる時間帯は、校門はすべて閉じるようにし、外部からの来校者には、職員室に声を掛けていただくようお願いしたり、職員からの声掛けを行ったりしています。



★ 登校時の旗振り活動に関しても、御意見を複数お寄せいただきました。それらについては、PTAの役員の方にお伝えさせていただきました。



入っ子

ホームページアドレス

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/irino-e/>

R3年度 学校だより No. 22-①

令和4年2月28日発行

入野小ブログ 毎日更新中

R3冬 入野小をよりよくするためのアンケート結果

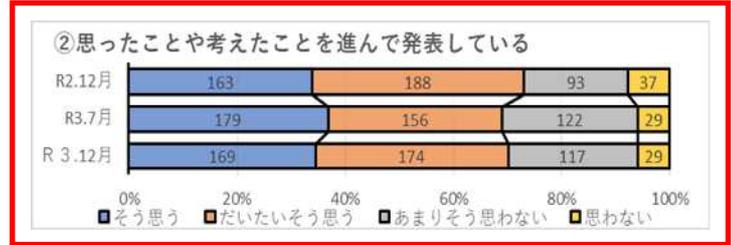
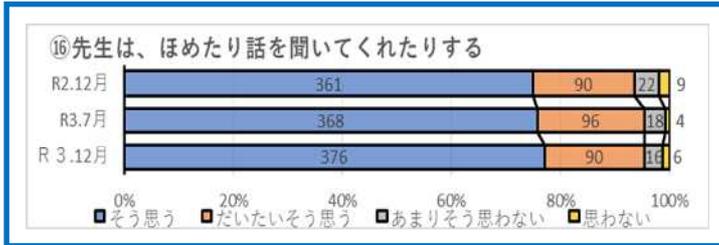
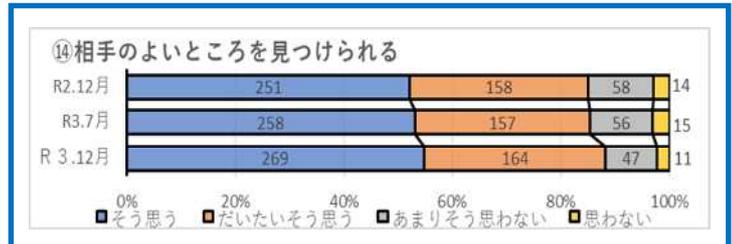
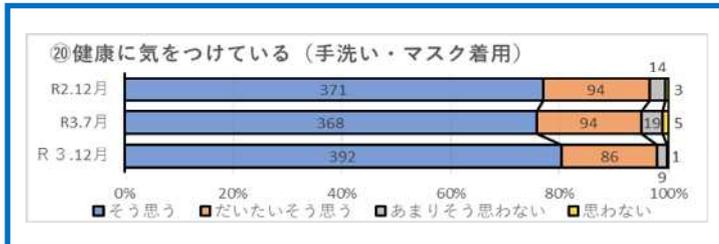
入野小では、2学期末に、児童及び保護者のみなさまに「入野小をよりよくするためのアンケート」を実施しました。保護者のみなさまには、「さくら連絡網」にて御回答いただき、御協力ありがとうございました。

このアンケートの結果を職員で共有し、さらによりよい教育活動を推進するための話し合いを重ね、令和4年度の教育計画について少しずつ確定してきました。その一部については、すでに「入っ子 No20」でお知らせしています。

今号では、アンケート結果（主なものを抜粋）と、続きのお知らせをいたします。

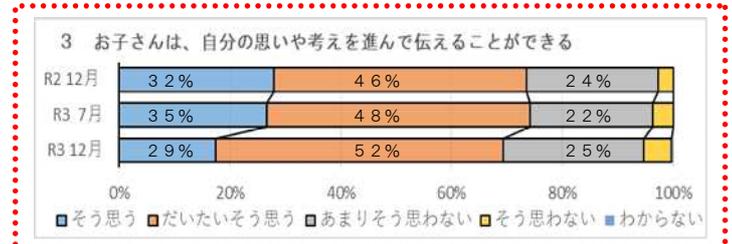
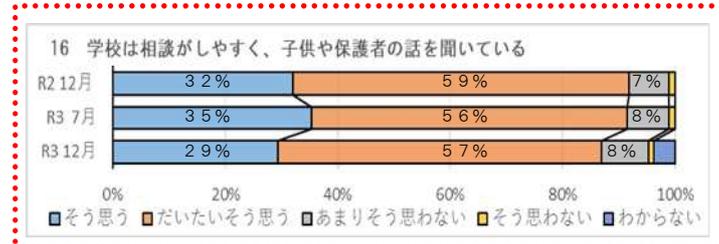
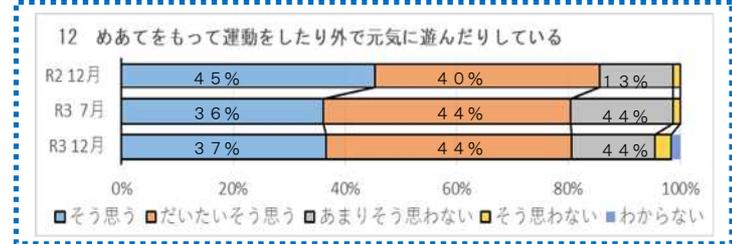
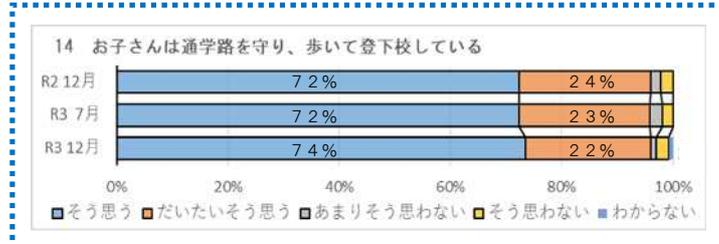
【子供アンケートの結果（主なもの）】

（R3冬の有効回答数は489名）



【保護者アンケートの結果（主なもの）】

（R3冬の有効回答数は375家庭）



今回も健康や安全への意識の高さが結果に表れました。また、「相手のよいところを見つけられる」と回答した子の割合も伸びました。心のたがやしの時間の「よいところ見つけ」や、企画委員会児童による「スマイル郵便」などの取り組みの成果と感じます。

一方、できていないと感じる割合が最も高かったのは、子供も保護者もともに、「思ったこと考えたことを進んで進んで発表して（伝えて）いる。」でした。職員一丸となって、改善に向けて、温かな学級づくりや（何でも言える雰囲気）、授業研修を続けておりますが、まだまだ不十分と感じます。

アンケート全体の傾向としては、子供アンケートでは、多くの質問項目で「そう思う」の割合が高くなっていましたが、保護者アンケートでは、「そう思う」の割合が7月時点より低下したものが若干多くなりました。

2学期以降、保護者の方にお子さんの様子を参観していただく機会や相談の機会が少なかったことや、今回のアンケートから、回答項目に「わからない」を追加したことが影響しているようでした。

R3 冬 自由記述にていただいた御意見（抜粋・編集しています）

（よかった点）

- 毎日元気いっぱい活動し、早寝・早起きをして、学校を楽しみにしている。
- 佐鳴湖をはじめとする自然に触れる活動がよい。
- クラスみんなで学ぶ授業、みんなで目標を決めて取り組む活動が多く、子供の社会性や主体性を育む働きかけをしてくださっていると思う。
- コロナ禍でも、行事が行われ、親が観覧できるように工夫してもらえたことは、よかった。
- 毎日、学校の様子を細かくブログにアップしていただき、ありがたい。ブログを通して、学校の教育方針や活動状況を知ることができ、安心している。
- 授業のノートやプリントを細かく見てもらえている。ありがたい。
- 相談をすれば、すぐに学級、学年全体へ指導してもらえるので、安心して任せられる。

本校の取り組みについて、御理解をいただき、大変うれしく、職員にとって励みになります。今後も、入野小の子どもたちの健やかな成長のため、努力して参ります。さくら連絡網やブログを活用した情報発信も、継続します。

（御要望や御質問、改善点など）

- ◆ 持ち物や購入しなければならないものなどは、事前に親へも連絡してほしい。

日頃より、持ち物の準備への御協力ありがとうございます。

日常的な持ち物については、予定帳を確実に書くように、今後も引き続き指導をして参ります。

特別に必要な持ち物（図画工作科や生活科、校外学習等）については、学年の発達段階に応じて、お子さんに伝えるだけでなく、学年便りや連絡メール、ブログ等を活用していくように工夫をしていきます。



- ◆ 学校へ持っていったものを友達に取られてしまう。

大変御心配をおかけし、申し訳ありませんでした。図画工作科や生活科などの材料について、友達から「ちょうだい」「交換しよう」と言われて断れなかったり、忘れ物をした子に「どうぞ」と進んで提供したりした子がいました。

学校では、今一度、職員で共通理解を図り、「自分が家からもってきたものは、自分のために使う。友達にあげたり、もらったりしない。家の人があなたのために用意してくださったものだから。」ということをご指導していきます。

御家庭におきましても、困ったときには、教師に申し出ることや、親の知らないところで物をあげたり、もらったりすることは、しない方がよいことをお子さんにお話してください。

貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。3学期のはじめに、各学級担任に対し、提出物や宿題の確認の仕方について振り返るとともに、今後より確実に点検を行うように指示をいたしました。

また、プリントやテスト直しなどについても、授業時間内のみならず、毎週金曜日の朝の時間（スキルタイム）や休み時間等で、個別の支援をしていくように努力をしていきます。経験の浅い教員への指導も行っています。今後も不十分なこと、お気づきのことがあれば、遠慮なく、お知らせください。

- ◆ 学校全体の様子は分かって、自分の子供の様子が分からない。

3学期は、参観会を実施でき、ほっとしております。反面、2学期は、参観会を中止したため、お子さんの様子をお見せする機会が少なくなったことは、職員も非常に残念に思っております。直後に控えていた5年生の林間学校、6年生の修学旅行実施に向け、コロナのリスクを最小限に減らすことに注力しておりました。

令和4年度も夏休み明けに、再びコロナが心配な状況が起きると想定し、2学期の参観会は、5、6年生を9月（宿泊行事説明会と合わせて実施）に、1～4年生は、時期を変え、11月に実施する計画を立てています。

また、希望制の三者面談を12月に設定し、お子さん1人1人の様子について保護者の方とお話しする機会

- ◆ 教え方や指導が古いと感じることがある。

急速に変化する世の中の動きに合わせてながら、柔軟に対応できるように心がけていきます。

タブレット端末の活用、地域の素材や人材等の支援を積極的に取り入れながら、一斉の授業と個別の学びを組み合わせた学習指導の在り方や、協働的な学びの実現に向けて研修を重ねていきます。

- ◆ 持久走記録会は、以前のように順位をつけた方がよいのでは？

持久走記録会については、行事ではなく、体育科の授業の一環で行いました。「入っ子 No17」でもお伝えしたように 令和2年度より新学習指導要領となり、持久走を行う目的が変化しました。自分に合ったペースを見つけ、走り通すことで、「心肺機能を高めたり、達成感を味わったりすること」と、「走ることの楽しさを味わい、生涯にわたって、運動に親しむ気持ちを育てること」をねらいとし、他の子との比較ではなく、自分自身との記録と向き合うことを目標にしています。そのため、今後も順位を付けることは致しません。

令和4年度についても、体育科の授業の中で行い、学校行事としては行いません。今年度は、学校を公開する機会が少なかったため、学校全体で参観を呼び掛けさせていただきました。どうぞ、御理解をお願い致します。